

令和 7 年度 精神障がい「にも包括」で支えあおう会の活動について

令和 8 年 2 月 24 日

大和市地域活動支援センターポピー 小林真紀

令和 6 年度末に、大和市障害者自立支援協議会の専門部会としての精神保健福祉部会は終了し、令和 7 年度以降は名称、形態を変更し、精神障がい「にも包括」で支えあおう会として、精神障がいに関連する地域課題を検討する協議体として活動している。

地域の当事者、家族、障がい福祉サービス事業所、相談支援事業所、医療機関、保健所、自治体の職員等が参加し、その年ごとの活動テーマを決めている。今年度の全体会は年 4 回程度開催だが、必要に応じてテーマに沿ったコアメンバーが集まることもある。

※「にも包括」とは「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」のことであり、精神障がいの有無にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加（就労など）、地域の助け合い、普及啓発（教育など）が包括的に確保されたシステム

令和 7 年度の活動テーマについて

①住まい（精神障がい者の住まいの確保について）

大和市あんしん賃貸事業連絡協議会（年 3 回開催）の第 1 回目が 7 月 15 日に保健福祉センターにて行われ、不動産店等、あんしん賃貸事業連絡協議会メンバーが参加した。改善に向けて取り組んでいるゴミ問題の困難事例について、事例検討、意見交換を行った。

家賃滞納、ゴミ等の諸問題は、その背景に精神障がい者の生活困窮や病状等の問題がある。今後も、精神障がい者への理解促進を図り、また貸主も困りごとを抱え込まず相談先があることを知っていただくための機会を引き続き設けていく。

②こころの健康講座（12 月の障がい者週間）

「こころの健康講座」は、一般市民向けに精神障がいの理解促進、普及啓発を目的とし、今年度は 12 月 2 日午前 10:30～12:00 にイオンホールにて開催した。今年度は、綾瀬市の障がい児者相談支援センターの土志田務氏が「つながりがこころを育む～にも包括づくり」というテーマで講演した。メンタルヘルス領域を幅広く扱い、精神疾患、ストレス対処などについてわかりやすくお話をいただいた。

③就労継続支援 B 型事業所に関する研修企画

現在、就労継続支援 B 型事業所は全国的に、また大和市内でも増加の一途をたどっているが、選ばれる事業所づくりを行うこと、支援、サービスの質を高めていくことが重要である。

そのため、支援の質の向上、利用者の利用機会の充実を目的とした研修会を次年度に開催しようと考え、企画を進めている。対象は主に B 型事業所職員、その他職員である。どのような課題があるかを知ったり、意見交換の場とする予定である。